

場面③富士山――  
訳18富士の山を見ると、五月の末に、

雪がたいそう白く降り積もつて  
いる。

訳19時しらぬ

時季をわきまえない

山は富士の嶺(ね)

山は富士山

いつとてか

今をいつだと思つて

鹿(か)の子まだらに

鹿の子模様のようにまだらに

雪の降るらむ

雪が降つてゐるのだろう

問一 季節はいつか。(当時は一年

の始まりが春からになつてい  
て、当時のカレンダーは、春  
の頃に一ヶ月を、夏の頃に  
四ヶ月を、秋の頃に七月、  
九月を、冬の頃に十月十二月  
を割り振つて作られてい  
た。)

ア 春 イ 夏 ウ 秋 エ 秋  
冬

# 訳19 時しらぬ

時季をわきまえない

山は富士の嶺(ね)

山は富士山

いつとてか

今をいつだと思つて

鹿(か)の子まだらに

鹿の子模様のようにまだらに

雪の降るらむ

雪が降つてゐるのだろう

## 問二

「鹿の子模様」の説明として  
正しいものはどれか。

ア鹿の子が雪景色の中に点々といふ  
様子を模様にしたもの。

イ鹿の子の茶褐色の背中の白い斑点  
を模様にしたもの。

## 問三

「今をいつだと思つて」とあ  
るが、この「思う」の主語  
は?

ア歌を詠んでいる人  
イ伊勢物語の語り手

ウ富士山 工神様 才地元の人々

# 訳19 時しらぬ

時季をわきまえない

山は富士の嶺(ね)

山は富士山

いつとてか

今をいつだと思つて

鹿(か)の子まだらに

鹿の子模様のようにまだらに

雪の降るらむ

雪が降つてゐるのだろう

## 問四

「今をいつだと思つて：：雪が  
降つてゐるのだろう」とある  
が、これは次のどちらか。

ア 伝統文化を破壊する者に対する怒  
りを表している。

イ 見慣れぬ光景に対する驚きを表し  
ている。

このは空白ページです